

現代若き女性気質集

岡本かの子

青空文庫

これは現代の若き女性氣質の描寫びようしやであり、諷刺ふうしであり、概が観いかんであり、逆説である。長所もあれば短所もある。読む人その心して取捨しゆしやよろしきに従い給たまえ。

○彼女はじつとして居いられなくなつた。何か試こころみ度たがつている。自分を試ためして見度みたがつている。自分の市場価値を。

○「恋など馬鹿ばからしくて出来できなくなりましたわ」と言う。「けれども愛の気持ちだけは失い度くありません。」

○彼女に取つてスピーデーで無いものは魅力みりよくが無い。それで退屈なげな時は、せめて街の自動車を眺ながめる。

○「結婚？　そうですね。出来るだけ我儘わがままをさして呉くれる男か、そ

れとも絶対的に服従させられる強い男とならばね。」

○チヨコレートを食べられる暇ひまさえある職業だったら職業という

ものは何という好もしいものでしょう。

○繕つくろった靴くつした下はでも穿はくときは皺しわの寄らないように。

○「お習字、生花いけばな、お琴こと、おどり——こういうものに却かえつてモ

ダニテイを感じ、習い度いと思うことはあるけれど、さて、い

ざとなつて見るとね。」

○「何でも断ことわられて顔あかが赭あかくなるようじゃ駄目だめよ。」

○女に向つて機嫌きげんを取るような男も嫌いなら、見下けんべいげて権柄けんべいづ

くな男も嫌い。

○自分で慥こしらえたものくらい気に入るものはない。洋服でも、お友達でも。

○「お金入れの口を開けてみて、お金が一いちもん文も無いときは何だか可笑おかしくつて可笑くつて、あはあは笑うのよ。たとえ困るのは知れ切つていても、若さのせいか知らん。」

○「訣わかれの挨拶あいさつのお辞儀じぎをしまつてから、また立話をする。あんなことあたし達にはないわ。」

○「おなかが減すいて家へ帰る電車がなかなか来ないときだけ、ちよつとセンチになるわよ。」

○来年あたりのことまで見当がつくけれど其その先は考えても判わからない。考えると頭が痛くなるから止よす。

○ついでに洗う洗濯物が無くて、お湯にどっぷり入るときくらい嬉しいことはない。

○「どうしてこう心配事が出来ないしょうぶん性分ぶんだろう。もつとも心配事があると直ぐすレコードをかけて直ぐはぐ紛らかしちまう癖くせがあるんだけれど。」

○牡丹ぼたんや桜のように直ぐ散つてしまう花には同情が持てない。枯かれてもしがみ付いている貝細かいさい工草いくそうや百日草ひやくにちそうのような花にかえ却かえつて涙がこぼれる。

○ラグビーを見ているときだけ男の魅力を感じずる。

○子供は少し不器量なのが好き。

○「自分ながら利口りこう過ぎるのが鼻につくから、少し馬鹿になる稽け

古いにしへをしようと思っただけど。」

○お金があると、ついお友達と円タクに乗ってしまつて。

○大概たいがいな事は我慢がまんが出来るけれど。鈍感どんかんなものだけはトテモ堪たまらない。

○ジャズの麻痺まひ、映画の麻痺、それで大概の興味は平凡なものに思える。始終しじゅう習慣的に考えているのは「何か面白おもしろいものは

無いか知らん。」

○「一生のうち一度だけ、パリは死ぬほど行つて見度みたいわ。」

○フレツシユの苳いちごクリーム、ブライトな日傘ひがさ、初夏は楽しい。

○折角せつかくハイキングに行つても、帰つて来て是非銀座へ寄らねば何ものたとなく物足り無い。

○偉くなるうなぞとはちつとも思わない。空虚な気がする。それより刹那せつな々々の充足感。

○そりや時々はくさることもあるわ。希望の飛行機が経済的事情にぶつかって、うまく飛行が運ばない時の気分のエアポケット。けれども理由を運動の不足になすり付けてしまつて、せつせとスポーツすれば癒なおる。

○わたくし達は、外でお友達と一いっしょ緒の時は「ノシちやえ」なぞと随分ずいぶん、男のような言葉も使つてわあわあ騒ぐ。けれども家へ帰つて家庭の人となる時は、まるで別人になつておとなしい良家の娘になる。それでいて、どつちにもちつとも矛盾むじゆんを感じないのは、われながら不思議だ。

○「一生に一度は真しんけん剣な気持ちにさせられるものにぶつかってみたいと思うことは、そりやあたし達にだって、ちゃんとあるわ。」

○「流行なんてつまんないと思うんだけど、やってみれば悪い気持もしないものね。」

○「第一、朗ほがらかにしなくっちゃ損そんじゃなくて。」

○「いざとなつて決心すりや、裸のモデルにでも平気でなれますわ。そして食べて行きますわ。」

○「あたし達に向つてはつきりした考えを言えと言つたつて、そりや無理ですわ。まだまだいろいろ経験してから考えを決め度たいと思つて居いるんですもの。」

○彼女の笑いは、全く自然に見えるほど洗練せんれんされている。けれども彼女は、腹の底から笑った味を知らない。

青空文庫情報

底本：「愛よ、愛」パサージュ叢書、メタローグ

1999（平成11）年5月8日第1刷発行

底本の親本：「岡本かの子全集 第十二卷」冬樹社

1976（昭和51）年9月20日初版第1刷発行

※表題は底本では、「現代若き女性―気質《かたぎ》集」となっています。

※「慥《こしら》えた」の表記について、底本は、原文を尊重したとしています。

入力：門田裕志

校正：土屋隆

2004年3月30日作成

2013年10月5日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

現代若き女性気質集

岡本かの子

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>